

自分たちができることを実践しよう！「草原保全に向けたPR活動」

実施校：碧水小学校（阿蘇市）6年生 ※H22年度モデル校プログラムより

■実施概要

碧水小学校の6年生は、阿蘇の草原について学習する中で、草原を守るために自分たちができることがないかを考え、いろいろ出されたアイデアの中からいくつかの活動を実践しました。その1つが、草原保全に向けたPR活動です。

碧水フェスティバル（学習発表会）で草原環境学習の成果を発表するとともに、手作りのフクロウやポスター、募金箱などを用意して会場で募金活動を行いながら、来場者に阿蘇の草原の素晴らしさを伝え、草原保全活動への協力を呼びかけました。

＜実施日＞ 平成23年1月30日(日)

＜実施時間＞ 9:15～15:00（碧水フェスティバル開催時間）

＜参加者＞ 6年生（47人）

＜実施場所＞ 碧水小学校講堂

＜準備するもの＞

（子どもたちが作成）

草原再生への協力を呼びかけるポスター、ノボリ、ススキのフクロウとメッセージカード、募金箱等

＜主催＞

阿蘇市立碧水小学校

■学習のねらい

- ・草原を守るために自らできることを考え、実際に取り組む。
- ・草原を守るために、自分たちにもできることがあることを学ぶ。
- ・協力して物事を進めることの大事さや楽しさを知る。

■学習の流れ

募金やPR活動に向けて準備

- ・草原のススキを使ったフクロウづくり
- ・ポスターや募金箱づくり

碧水フェスティバル(※1)で
草原保全に向けたPR活動！

1月30日(日) 9:15～15:00

- ・草原について学んだことを発表
- ・募金活動（募金箱、ススキのフクロウを活用）
- ・ポスターやノボリを使って草原保全をアピール

募金活動で集まったお金を
阿蘇草原再生協議会(※2)へ寄付

※1 碧水フェスティバル：

碧水小学校の児童が保護者と地域の方々を対象に学習の成果を発表するため、毎年開催されています。

※2 阿蘇草原再生協議会：

阿蘇の草原保全・再生に向けて様々な活動を進める団体や個人が集まり、自然再生推進法に基づき、平成17年12月に設立。かけがえのない阿蘇の草原を未来に引き継いでいくため、地元牧野組合や活動グループ、行政、研究者など多様な主体が連携・協働しながら取り組みを進めています。平成25年3月現在、234（団体・法人、個人）が参加。

■実施の様子

◇草原の素晴らしさや現状について情報発信

- ・草原について年間を通じて学習して、わかったことや感じたことを劇やクイズにして発表。児童全員や保護者、地域の方々に情報発信し、身近な阿蘇の草原に対する理解者の増加に貢献しました。



◇草原を守るために募金を呼びかけ

- ・手作りの募金箱やノボリを使って、フェスティバル会場で募金を呼びかけました。ススキで作ったフクロウも募金活動に一役買いました。



◇集まったお金は阿蘇の草原保全を支援する募金に寄付

- ・フェスティバルでの活動で集まった募金は、3月に開催された学習発表会の場で、阿蘇草原再生協議会の高橋会長に手渡されました。



あなたの気持ちで
草原が救われる!



■成果など

- ・草原について学んだことをまとめ発表することを通して、草原の素晴らしさやその価値、現状などを多く人と共有することができた。
- ・学習や募金活動の成果が実際の草原保全の活動とつながることで、達成感が高まった。

◇子どもたちからのメッセージ「阿蘇の草原を守ろう！」

私たちは5年生の時から阿蘇の草原を学習してきて、今の阿蘇の草原は昔にくらべて減っていることが分かりました。このままでは、阿蘇にすむ生きもののすみかや植物が減り、阿蘇の自然がなくなってしまいます。そのために、草原の再生に向けて募金をしています。集まった募金は阿蘇草原再生協議会にお届けします。

留意点

- ・草原の価値や守っていくことの必要性を認識した上で、自発的に取り組むことが重要です。
- ・目的をもってみんなで取り組むことにより、達成感や学習効果が高まります。